

# 令和7年度 埼玉県高等学校バドミントン新人大会 北部支部予選会（団体戦）実施要項

1. 期 日 令和7年 9月10日（水）・12日（金） 9:00～  
9月10日 準備終了後、開会式、競技【予選リーグ戦】  
12日 競技【決勝リーグ・順位決定戦】
2. 会 場 彩の国くまがやドーム
3. 種 目 団体戦（男女 各学校対抗）
4. 競技規定 (1)令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定及び公認審判員規定による。  
(2)令和7年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトル（第1種・第2種）を使用する。使用シャトルは、指定された銘柄の各校持ち寄りとする。
5. 競技方法 (1)予選リーグ戦（出場校が23校以下の場合には6リーグ、24校以上の場合には8リーグとする）、決勝リーグ戦（出場校が23校以下の場合には2位リーグ戦も行う）、順位決定戦とする。顧問会議にて変更する場合もある。  
(2)複2組・単3名で行い、試合順序は複1・複2・単1・単2・単3で実施する。なお、単1は複1～単3と兼ねることはできない。  
(3)試合は、3ポイント先取とする。  
(4)監督、コーチ、マネージャー、選手の変更をする場合は、所定の用紙を使用し、開会式前までに埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部北部支部委員長まで提出すること。それ以後は認めない。
6. 引率・監督 (1)引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。  
(2)監督、コーチは、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入していることを条件とする。
7. 参加資格 (1)選手は学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。  
(2)監督、コーチ、マネージャー、選手は、（公財）日本バドミントン協会に令和7年度登録完了済みの者とする。  
(3)年齢は西暦2008年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(4)チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(5)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

(6)転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部長の許可があればこの限りではない。

(7)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

(8)参加資格の特例

ア. 上記(1)に定める生徒以外で、(2)~(7)の本大会参加資格を満たすと判断され、埼玉県高等学校体育連盟が推薦する生徒については、別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ. 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

**【大会参加資格の別途定める規定】**

1. 学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、埼玉県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2. 以下の条件を具備すること。

(1)大会参加を認める条件

ア. 全国高等学校連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ. 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ. 各学校にあっては、埼玉県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本大会への出場条件が満たされていること。

エ. 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2)大会参加に際し守るべき条件

ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ. 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて、傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8. 参加制限
- (1)チーム編成  
1校1チームとし、監督1名、コーチ1名、選手5名以上7名以内（同一校選手）とする。また、選手が5名を欠いた場合はチームとして認めない。（同一校で男女出場する場合は、それぞれに監督をつけること。）
  - (2)外国人留学生  
申し込みは2名以内とし、1対抗戦の出場は、その出場人数（1名または、2名）に関わらず、1試合とする。
  - (3)マネージャー  
マネージャーは、当該校の職員または生徒とする。その際、マネージャーが生徒の場合、選手を兼ねることができる。

9. 申し込み 所定の書式に入力し、データを事前にメールに添付して送信する。

8月29日（金）15時 までにお申し込みします。

『【令和版】（学校名 男女）○年度8・9月新人戦大会申し込みファイル』

※メールアドレス sekido.hiroki.15@spec.ed.jp

また、送信したものをプリントアウトし、職印が押されたものを令和7年9月3日（水）14時からさくら運動公園会議室で開催される北部支部高等学校バドミントン顧問会議へ持参すること。

※電話、FAXによる申込みは不可（必ず電子メールでデータを送信する）  
※必ず、メールが届き（確認）次第、返信いたします。

10. 表彰 優勝校に優勝杯（持ち回り）を、ベスト4入賞校に賞状を授与する。
11. 組み合わせ 令和7年9月3日（水）14時からさくら運動公園会議室で開催される北部支部高等学校バドミントン顧問会議にて行う。
12. 試合進行等
- (1)ア. 21点3ゲームとし、2ゲームを先取した方が勝ちとなる。
    - イ. 各ゲームとも20点オールになった場合、2点差をつけた方が勝ちとなる。2点差がつかなかった場合は、30点を先取した方が勝ちとなる。
    - ウ. 各ゲームにおいて11点を先取したら、60秒を超えないインターバルを与える。（競技区域外へ出てもよいが、20秒前までにコートに入る）
    - エ. 第1ゲームと第2ゲーム、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを与える。（競技区域外へ出てもよいが、20秒前までにコートに入る）第3ゲームでどちらかが11点を先取したら、チェンジエンドをする。
    - オ. 競技区域以内でアドバイスする場合には、チェンジエンド後とする。人数は、両サイドとも大会参加申し込みをした者の中から2名までとし、コートに入ってもよい

- (2)ア. 予選リーグ戦・順位決定リーグ戦において、前試合を棄権した学校は、そのリーグ戦の以後の試合をすべて棄権扱いとする。
- イ. 予選リーグ戦・順位決定リーグ戦の順位の決定方法は、
- (1)最終勝敗
  - (2)得失マッチ数差
  - (3)得失ゲーム数差
  - (4)総得失点数差
  - (5)(1)～(4)までで2校が残った時は、当該校同士の勝敗  
(1)～(4)までで3校が残った時は、当該校同士の中の最終勝敗、得失マッチ数差、得失ゲーム数差、総得失点数差の順で行う。
- (3)同一校が連続して試合を行う場合には、前試合終了後15分間の間隔をおいてから次の試合を行う。
- (4)原則として複1から順に1試合ずつ行う。ただし、試合進行が遅れている場合には、平行して行う場合もある。ただし、複1と単2、複2と単2、複1と単3、複2と単3に同一選手が出場する場合は、10分間の間隔をおいてから始める。
- (5)練習は各対戦前2分間とする。
- (6)審判は、準3級以上の資格を取得している者が望ましい。

### 13. 連絡事項

- (1)競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会の審査規格品とする。
- (2)上位の背中中央には必ず高等学校名及び都道府県名を日本語で明記し、大会運営第4章第24条に従うこと。
- (3)リーグ戦内で責任審判制とする。
- (4)選手・生徒は、当該校引率責任者（部顧問教師）によって引率され、当該校引率責任者は、選手・生徒の行動に責任を負うものとする。
- (5)今大会での男女ベスト4入賞校は、埼玉県高等学校新人大会に出場することができる。
- (6)必ず当該校引率責任者（部顧問教師）は、諸連絡までに受付（本部席）をしてください。
- (7)必ず当該校引率責任者（部顧問教師）は、諸連絡に参列してください。
- (8)大会に参加する選手の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。
- (9)試合中の水分補給を認めるが、必ず審判に許可を得るものとする。（ベンチでの水分補給は認めない。）容器は倒れてもこぼれないスクイズボトルを使用し、審判の横にある指定の箱等に入れること。